

## 日常生活における「情報」の活かし方

### 話の要点（下線部はキーワード）

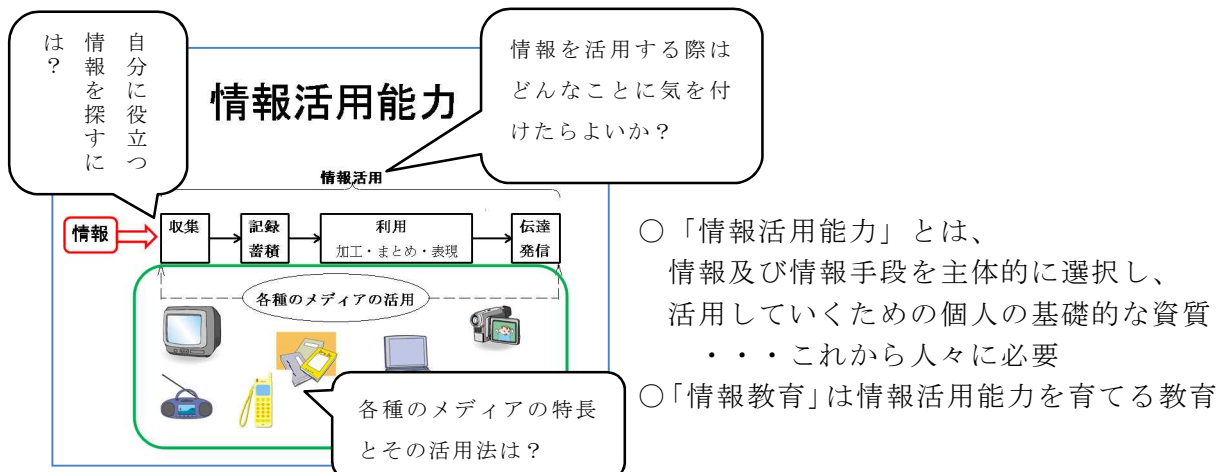
1. 教育におけるICTの活用（自己紹介を兼ねて）  
今学校ではICTが学習の道具として使われている。
2. 情報活用能力と情報教育の必要性  
これからの時代は、人々に情報活用能力が必要であり、それを育てる情報教育が必要である。
3. 学習や日常生活に役立つWebサイト  
インターネット上のWebサイトにある教材や情報を日常生活に役立てることができる。
4. 情報モラルとその教育の必要性  
情報を適切に扱うための情報モラルと、それを育てるための情報モラル教育が今後必要である。
5. これから必要なこと  
ICTに頼り過ぎること無く、直接のコミュニケーションや五感を駆使した直接経験を大切にしたい。

### 1. 教育におけるICTの活用（自己紹介を兼ねて）

ICT: Information and Communication Technology

コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報コミュニケーション技術  
最近教育現場では、教育や学習の道具としてICTが活用されている。  
また、併せて情報活用能力を育てる「情報教育」が行われている。

### 2. 情報活用能力と情報教育の必要性



### 3. 学習や日常生活に役立つ Web サイト

ICT は学習や日常生活に役立つ。

特にインターネット上の Web サイトには、学習や日常生活に役立つ教材や情報がある。

○学校でよく使われるデジタルコンテンツ（デジタル教材）の例

①教育用画像素材集（I P A）（<http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>）

検索語「教育用画像素材集」で検索する

無償で使える画像（動画、写真など）が豊富にあり、ダウンロードして用いることができる。

②NHK for School（<http://www.nhk.or.jp/school/>）

検索語「NHK」→NHKのトップページ→趣味/教育→NHK for School

このサイトから、教育用番組や、動画教材（動画クリップ）などが見られる。

③フラッシュ型教材（<http://eteachers.jp/>）

検索語「フラッシュ型教材」

授業で児童・生徒にくり返して覚えさせたいことを「フラッシュカード」の形式で次々と提示する。併せて児童・生徒を集中させる効果がある。

○このほか日常生活の様々な場面で、Webにある情報を活用することができる。

例：学習、家事、趣味、・・・等々

### 4. 情報モラルとその教育の必要性

(1) 情報社会において ICT に接する基本的考え方

○生活の中でコンピュータ、インターネット、携帯等を使わないことは不可能。

○大人も子どもも、光と影を理解し、適切な使い方を学ぶ、教える、身に付けることが大切。

→すべての人に「情報モラル」が必要であり、

特に学校ではそれを育てるための「情報モラル教育」が必要である。

○「情報モラル」とは情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。

（高等学校教科「情報」の中で定義）

(2) インターネットに関わる様々な問題点

次のような様々な問題がある。これらにどう対処したらよいかを考えたい。

- ①ネットいじめ ②有害情報へのアクセス ③出会い系サイト ④過激な自己表現
- ⑤個人情報の漏洩 ⑥迷惑メール・チェーンメール ⑦架空請求
- ⑧過剰なメール依存 ⑨コンピュータウイルス ⑩ゲーム中毒 ⑪著作権の侵害
- ⑫肖像権の侵害 ⑬ネットオークションのトラブル・・・等々

### 5. これから必要なこと

○ICTに頼り過ぎない。

○直接のコミュニケーションや五感を駆使した直接経験を大切にしたい。

○これらのことを、大人から子どもにも伝えていく。